

「OFIXニュース (OFIX News)」 (第30号) (2010.1.28)
 (財)大阪府国際交流財団 (OFIX) メールマガジン

目次

【01】事業報告 1

- 外国人のための避難所宿泊訓練を実施しました
～OFIXボランティアの声～
- 【02】募集案内・お知らせ
 - 「ワン・ワールド・フェスティバル」開催
 - ★OFIXプログラム「留学生フォーラム」
 - 平成23年3月医療通訳ボランティア研修受講者募集
- 【03】事業報告 2
 - 外国人留学生のための合同企業説明会を開催しました
- 【04】OFIXネットワーク
 - 大遊協国際交流・援助・研究協会の事業活動
- 【05】留学生会館ニュース
 - 留学生と地域住民との交流会を開催しました！
- 【06】OFIX国際交流員のレポート
 - また会いましょう！

【01】事業報告 1

- 外国人のための避難所宿泊訓練を実施しました

OFIXでは(財)大阪国際交流センターおよび近畿地域国際化協会連絡協議会と共催し、12月18日～12月19日の2日間、大阪国際交流センターで「外国人のための避難所宿泊訓練」を開催しました。目的は、地震や台風による風水害など災害が起こったとき、「避難所」の存在を知らない外国人に対して、避難所とは何か、どういうことをしてもらえるのかなどを、実際に体験してもらうことでした。

世界13カ国出身の計39名の外国人、災害時通訳・翻訳ボランティア15名に参加いただき、(特活)多文化共生センター大阪代表理事 田村太郎氏の指導のもと、近畿地域国際化協会職員、府内市町村職員、大阪府職員で多言語支援センターを立ち上げ、避難所で参加外国人に対する巡回、聞き取り等の模擬訓練、行政情報などの通訳、翻訳活動を実際に体験してみることにより、災害時の円滑な活動に必要なことを学びました。

外国人の方にも、夕食、朝食時に非常食体験、避難所での生活体験、宿泊体験を通じて「避難所」についての、皆さんの理解を深めることができました。OFIXとしては、今後も府内在住外国人の支援事業の一環として、このような訓練を引き続き行いたいと考えています。

～OFIXボランティアの声～

宿泊訓練参加者より：

災害時を想定した研修では、国籍の異なる外国人の方からの聞き取りを実際に経験する事が出来ました。またボランティアだけではなく、行政からも職員の方が参加されていたのは、地域での取り組みを踏まえた上でも、非常に良かったと思います。実際の被災や災害対策に関する経験に基づいての情報を教えて頂いた事は、非常に有意義でした。

自宅翻訳訓練参加者より：

被災地での活動が困難な状況を想定しての自宅翻訳訓練に参加しました。自宅での作業と言う事もあり、状況がつかみにくい時や、連絡を取り合うのが難しい場面もありましたが作業自体は落ち着いて出来ました。被災地から離れた場所からでも支援が出来る事を実感できて、とても良かったです。

《一緒に災害時の外国人支援を考えませんか?》
 近畿地区で大規模災害の被災地に設置される支援拠点施設等で通訳や翻訳の活動をしていただくボランティアを募集しています。一緒に被災した外国人に自分達が出来る支援を考えませんか?

詳細はこちら：<http://www.ofix.or.jp/boran/index6.html>

写真はこちら

http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no30.pdf

【02】募集案内・お知らせ

- 「ワン・ワールド・フェスティバル」開催

2011年2月5日(土)～6日(日)の2日間、大阪国際交流センターにて「ワン・ワールド・フェスティバル」を開催します。このフェスティバルは、府民に広く国際協力の大切さを認識してもらうために、関西を中心に国際協力に携わっているNGO、国際機関、自治体、企業などが協力して、活動紹介展、シンポジウム、パネルディスカッションなどを実施するものです。OFIXでは、事業紹介ブースを出展するほか、「留学生フォーラム」とい

うプログラムを企画しています。

日時： 2011年2月5日（土）10:00-17:00
2月6日（日）10:00-16:00
場所： 大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町8-2-6）
参加費： 無料
問合せ： ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局
Tel: 06-4395-1124

※ 詳しくは、事務局ホームページをご覧ください。
→ <http://www.interpeople.or.jp/owf/>

★OFIXプログラム 「留学生フォーラム」

日時： 2011年2月6日（日） 15:00-17:00（予定）
場所： 大阪国際交流センター 3階第4会議室
内容： 「国際理解を深めましょう！国際的な視野を持つグローバル人材の育成について語りましょう！」というテーマで「留学生フォーラム」を開催します。留学生が母国紹介や、国際的な視野を持つのに何が必要か、大阪国際化の期待や、グローバル人材育成の重要性等について発表し、一般参加の方も交えてディスカッションします。

多くのご来場者お待ちしております！

■平成23年3月医療通訳ボランティア研修受講者募集

財団では、医療通訳ボランティア研修を以下の要領で開催します。関心をお持ちの方はふるって申し込んで下さい。
日時：平成23年3月2日（水） 9:45～15:50
3月6日（日） 10:00～16:00
場所：大阪府立急性期・総合医療センター3階講堂
主催：地方独立行政法人大阪府立病院機構、財団法人大阪府国際交流財団、NPO法人AMDA国際医療情報センター関西（企画運営）
協力：大阪府
内容：「在日外国人をとりまく医療問題について」等の講義や「医療通訳のコーディネーター等の状況」に関するワークショップ、医療通訳の実際を体験するロールプレイ等、医療通訳の現状と課題についてのパネルディスカッション等多彩です。研修を受けていただくことができる方は、原則として以下の方々です：
-大阪府立5病院等の病院や国際交流団体等において医療通訳ボランティアとして登録されている方
-大阪府立5病院等において医療通訳関連業務に携わっておられる事務局職員の方（2日午後のワークショップに参加していただきます。）
募集人数： 50名程度
申込締切： 2月18日（金）

詳しくは財団のホームページをご覧ください：<http://www.ofix.or.jp/news.html#iryuu>

【03】事業報告 2

■外国人留学生のための合同企業説明会を開催しました

平成23年1月15日（土） 10:00～17:00 マイドームおおさか1階にて外国人留学生と留学生を積極的に採用する企業との出会いの場をつくり、留学生が就職するに当たり必要な情報を提供し、日本での就職を支援するためのイベントを開催いたしました。当日は非常に寒く、雨天の中、1136名の留学生が参加し、出展企業も61社と非常に盛況でした。参加留学生の国籍も多岐にわたり、皆さん、真剣な表情で積極的に質問したり、企業担当者の説明に聞き入っていました。留学生の在籍する大学も、大阪府内、関西圏のみならず、日本全国の大学からの参加と、現在の就職状況の厳しさを反映して外は非常に寒さ厳しい天候でしたが、会場内は終始熱気に包まれていました。OFIX登録の語学ボランティアにも参加、協力をいただき、成功裏のうちに無事終了いたしました。OFIXとしては、2011年度も継続して、この事業を開催予定です。

写真はこちら
http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no30.pdf

【04】OFIXネットワーク

■大遊協国際交流・援助・研究協会の事業活動

大遊協では、日本に希望と期待をもって勉学、研修、事業の研鑽のために来阪した一時滞在の在阪外国人の人達が、安心し、かつ有意義に過ごせるように次の事業を行っています。

1. 留学生に対する奨学金交付
-大遊協の奨学金は、返還義務がありません-

奨学金受給申込資格：
a. 大阪府内に居住し、府内に所在する大学（専修学校・短期大学を除く）の1年生および大学院に在学している留学生。

- b. 大学当局から推薦のある人。
- c. 日本国内の他の財団等から、奨学金の支給を受けていない人。

奨学金の支給人員・金額及び支給期間：
支給人員は、学部生、大学院生合わせて毎年15名程度です。支給金額は学部生で1人1ヶ月50,000円、大学院生で1人1ヶ月70,000円です。支給期間は、入学の翌年の2年次から最短修学期間を終了するまでの間です。

申込手続き：
在籍する大学事務局（学生課）に相談してください。

奨学金支給大学及び支給延べ人員（平成22年4月現在）～平成4年からこれまでに奨学金を支給してきた大学数及び人員は、34大学で、延べ248人です。国別では、18カ国2地域の留学生です。～

2. 困り事相談所を開設

-平日の10時から15時まで-

一時滞在の在阪外国人および留学生のための『困り事相談所』を開設し、日常生活のアドバイスを行っています。大遊協に来て頂いても、又は電話、メール等での相談も受け付けておりますので、気軽に利用して下さい。

3. 一時滞在の在阪外国人および留学生に対する犯罪、事故被害防止などの広報啓発活動およびその助成

- ・防犯や緊急連絡方法を記載した年間スケジュール手帳をオリジナルで作成し、防犯意識の高揚に努めています。また、ラジオのFMcocolo（76.5ヘルツ）で、毎週月曜、火曜日の午後8時20分から犯罪、事故防止の啓発放送を、中国語、ハンダ語、英語の3カ国語で行っています。

4. 国際交流事業の推進および関係団体への協力・協賛

大遊協が毎年独自で実施している催事をはじめ、各種国際交流事業への参加を積極的に行っています。写真は、・大遊協主催の歴史（企業）見学会（二条城）の様子です。

詳しくは、下記までご連絡下さい。
大阪市東住吉区杭全5-9-6 大遊連会館3F
大遊協国際交流・援助・研究協会
電話：06-6710-0180 FAX:06-6710-0170
E-mail：info@daiyukyo-kokusaikoryu.or.jp

写真はこちら
http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no30.pdf

【05】留学生会館ニュース

■留学生と地域住民との交流会を開催しました！

12月11日堺留学生会館オリオン寮にて、寮生と地域住民の方達との交流を深めるため「ウインターパーティ」が開催されました。オリオン寮生の他、地元自治会、健老会の方々や日本の大学生達約100人が参加し大盛況のパーティでした。北堺警察署警備課の方による防犯指導、堺市国際課の方による災害時の避難場所についての防災指導等、安全に生活する上での注意事項を皆熱心に聞いていました。美味しい料理や飲み物を楽しんだ後は、健老会の方々の指導のもと日本の童謡を歌ったり書道を体験しました。留学生はみんなそれぞれ思い思いの字を書いていたのですが、みんな達筆でびっくり！クライマックスはスペシャルゲストによるミニライブ。クリスマスソングで盛り上がり、韓国の有名ドラマ「冬のソナタ」の主題歌等をしっかりと歌い上げみんなムードが一瞬に酔いしれていました。大ビンゴ大会で獲得した景品を手みんな笑顔で「ほんま楽しかったわ。」と会館を後にしていきました。寮生にとっては、日本留学中の楽しいオリオン寮での思い出になったに違いありません。日本に来られている外国人留学生の皆さん、是非あなたもオリオン寮の仲間になりませんか？入居は学校の学生課を通じて随時受け付けていますので、お申し込みを待ちしています。

写真はこちら
http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber/mail_japanese_no30.pdf

【06】OFIX国際交流員のレポート

■また会いましょう！

いつものオープニング挨拶を書くのはこれが最後になりますので、少し泣きそうですが……皆さんこんにちは、OFIXのリチャードです。ご存知の読者もいると思いますが、OFIXに勤めて約3年半になり、一月末で退職することになりました。日本の諺に「光陰、矢のごとし」というのがありますが、OFIXに来た2007年秋の事が、本当に昨日みたいに感じるので、まさにこの表現が合っていると思います。3年前、私は若くイキイキしていた27歳で、ずっと住みたかった大阪にやっとなり、嬉しかったです。今もまだまだ大阪が大好きですが、残念ながら、私はもうそんなにイキイキしていない30歳です！

OFIXでの勤務はいろんな意味で貴重な経験で、ひとつの短い記事でちゃん

